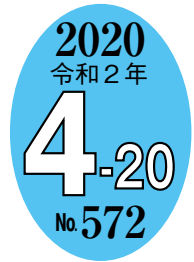




地域を見つめる経済情報誌

長野しんきん 北信地区経済動向



「すかい」(sky: 空)は、北信地区経済の空模様を展望しながら、経済面からとらえた身近な情報をおとどけます。

景況調査レポート



小布施町 松川橋梁

大木の桜が、今を盛りに花を開こうとする麗らかな春の日。
いつもなら桜見物の人が行きかう遊歩道に人影は見当たりません。
「川の方へは行っちゃダメ」
休校で幼い弟の面倒を見ているのでしょうか。
堤防下の空地から小学生ぐらいの女の子の声がします。本当に健気です。

- 長野しんきん景況調査レポート…………… 2
- 企業アンケート 事業継続計画BCP ① …… 6
- 生活者アンケート 災害への備え …… 9
- 北信濃 江戸時代の風景 (68) 伊能忠敬、信州へ …… 10

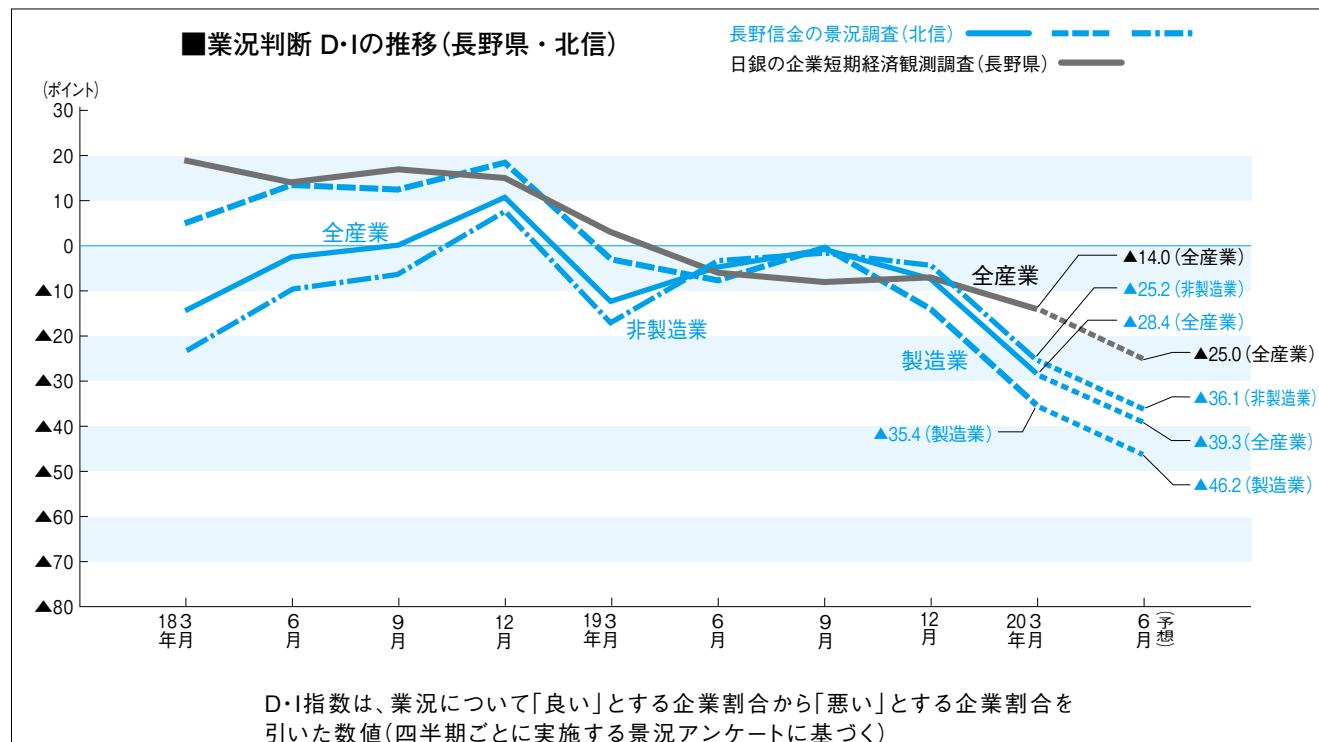
「すかい」は長野信用金庫のホームページでカラー
にてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)



長野信用金庫

景況調査レポート 概況 (第179回景況アンケート調査)

◆長野県北信地区◆2020年1～3月期…景気の現状 ◇2020年4～6月期…景気の見通し



全産業▲7 → ▲28 製造業・非製造ともに悪化

2020年1～3月期の業況判断D・Iは、全産業で21ポイント悪化して▲28となりました。製造業は21ポイント悪化の▲35、非製造業も21ポイント悪化の▲25です。

2020年4～6月期の全産業の業況判断D・I(予想)は、11ポイント悪化の▲39となりました。

◆北信地区の1月～3月期の業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
全産業	▲7	→ ▲28 (21ポイント悪化)	→ ▲39
製造業	▲14	→ ▲35 (21ポイント悪化)	→ ▲46
非製造業	▲4	→ ▲25 (21ポイント悪化)	→ ▲36

非製造業▲4 → ▲25 全業種が悪化

非製造業の業種別業況判断D・Iは、建設業が±0(前期比▲22ポイント)、卸小売業が▲41(同▲34ポイント)、

◆非製造業の業種別業況判断D・I

	前期	今期	来期(予想)
非製造業	▲4	→ ▲25 (21ポイント悪化)	→ ▲36
建設業	+22	→ ±0 (22ポイント悪化)	→ ▲5
卸小売業	▲7	→ ▲41 (34ポイント悪化)	→ ▲57
サービス業	▲37	→ ▲46 (9ポイント悪化)	→ ▲60

サービス業が▲46(同▲9ポイント)となり、全業種が悪化しています。

◆売上高D・Iと収益判断D・I

	売上高D・I(「増加」-「減少」)		収益判断D・I(「増益」-「減益」)	
	前期	今期	前期	今期
全産業	▲ 6	→ ▲30(悪化)	▲ 8	→ ▲30(悪化)
製造業	▲26	→ ▲38(悪化)	▲31	→ ▲42(悪化)
非製造業	+ 3	→ ▲26(悪化)	+ 1	→ ▲24(悪化)

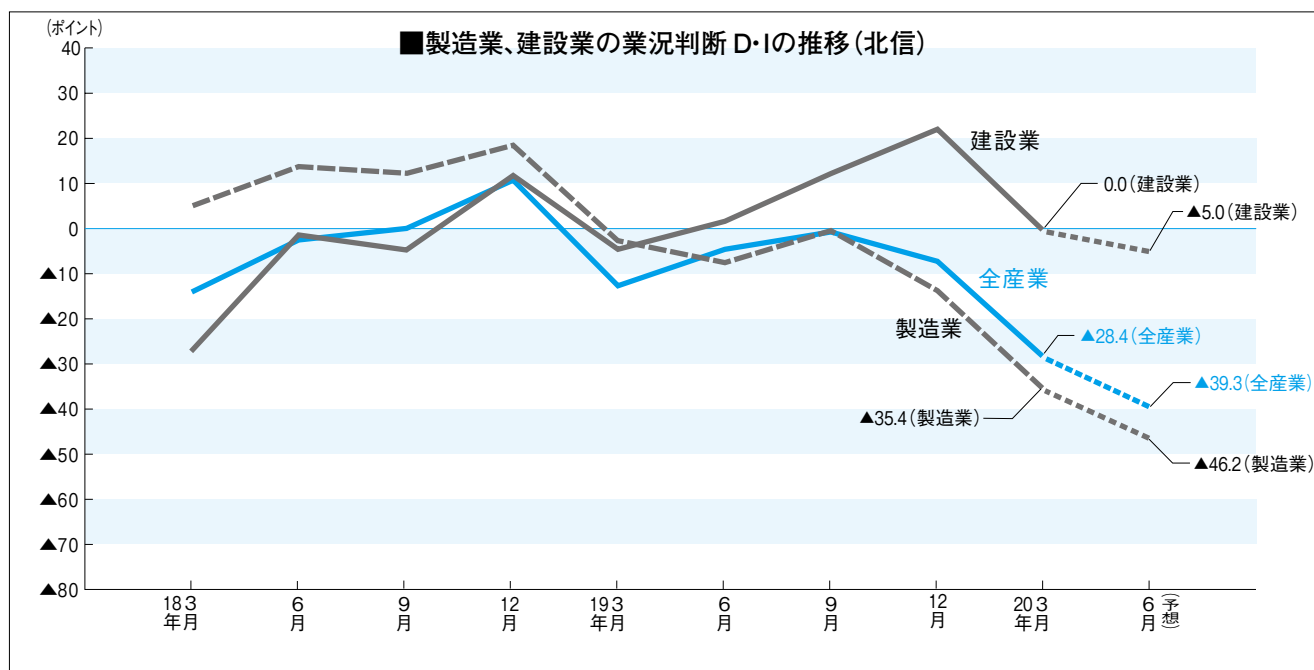
●北信地区の業況判断D・Iの推移

	2019年6月	9月	12月	2020年3月	6月(予想)
全産業	▲4.8	▲0.9	▲7.1	▲28.4	▲39.3
製造業	▲7.8	▲0.1	▲14.0	▲35.4	▲46.2
非製造業	▲3.3	▲1.4	▲4.1	▲25.2	▲36.1

[調査要領]

●調査実施……2020年3月
●調査対象企業(回収)
製造業……65社
建設業……61社
卸小売業……42社
サービス業……42社

合計……210社
●回収率……80.2%
●従業員規模
30人未満……75.7%
●分析……D・I判断指数
を中心に分析



製造業の景況

21%悪化して▲35に、来期も悪化の予想

製造業の1～3月期の業況判断D・Iは▲35で、前期(▲14)に比べ21%悪化となりました。4～6月期は今期より11%悪化の▲46の予想です。

	(前期)	10～12月期	▲14
◆業況判断D・I	(今期)	1～3月期	▲35
	(来期)	4～6月期	▲46(予想)

◇業種別業況判断D・I

改善	精密機械
悪化	食料品・金属加工・一般機械・電気機械・自動車部品

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…▲42 (11%悪化)

「増益」割合 前期 15% → 9% (6%減少)

「減益」割合 前期 45% → 52% (7%増加)

◆現在の採算状況…悪化

「利益確保」	前期 35% → 37% (2%増加)
「収支トントン」	前期 51% → 40% (11%減少)
「赤字」	前期 14% → 23% (9%増加)

企業からのコメント

- ★新型コロナウイルスの影響で、得意先の売上がかなり深刻な状況になって来ており、どう対応するべきか、各社が悩んでいる。(シール・ラベル)
- ★新型コロナウイルス問題によって、観光地に大きな影響が出るのが危惧される。(そば製造)
- ☆★ようやく上昇傾向になったが、去年の台風被害と米中の経済摩擦にコロナウイルス騒動が加わり、不透明感が続いている。(精密機械)

建設業の景況

22%悪化して±0に、来期も悪化の予想

建設業の1～3月期の業況判断D・Iは±0で、前回(+22)に比べ22%悪化しています。4～6月期は今期より5%悪化の▲5の予想です。

	(前期)	10～12月期	+22
◆業況判断D・I	(今期)	1～3月期	±0
	(来期)	4～6月期	▲5(予想)

◇業種別	総合建設	前期 +27 → ▲9 (36%悪化)
	土木工事	前期 ±0 → ±0 (横ばい)
	建築	前期 +21 → ▲5 (26%悪化)
	各種設備	前期 +44 → ±0 (44%悪化)

◆収益判断D・I(「増益」-「減益」)…+2 (15%悪化)

「増益」割合 前期 31% → 22% (9%減少)

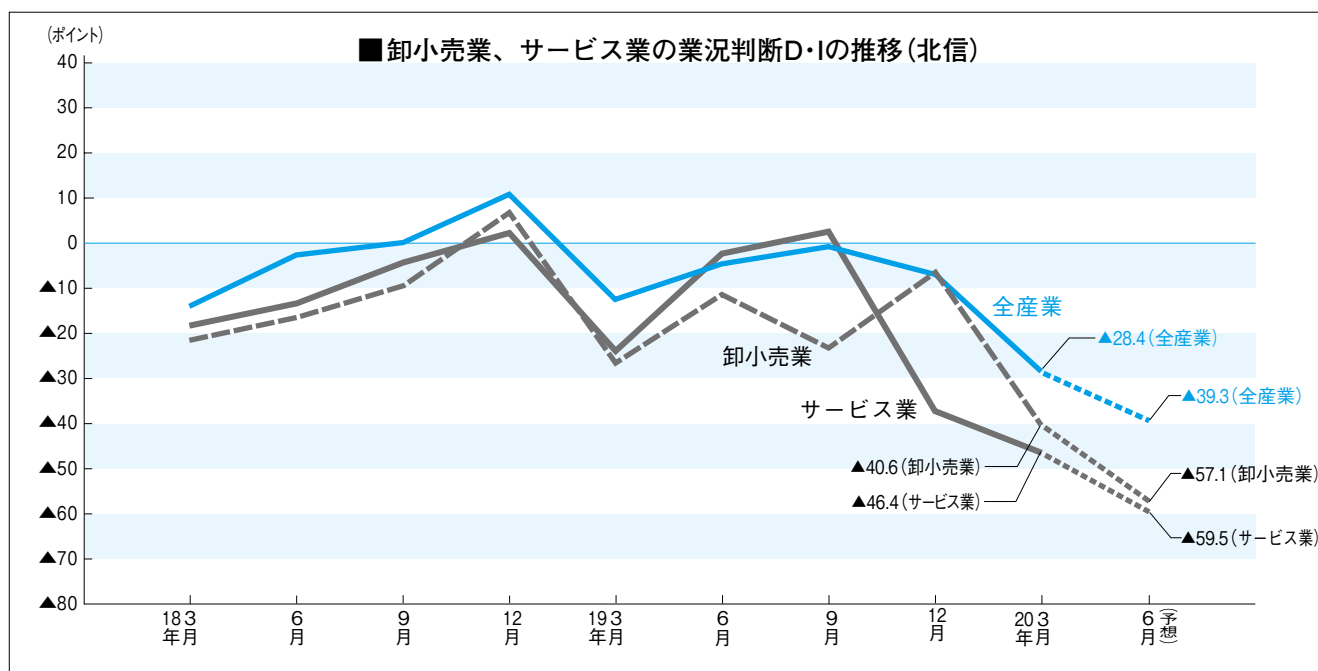
「減益」割合 前期 14% → 20% (6%増加)

◆現在の採算状況…改善

「利益確保」	前期 42% → 52% (10%増加)
「収支トントン」	前期 49% → 42% (7%減少)
「赤字」	前期 9% → 7% (2%減少)

企業からのコメント

- ★今回の新型コロナウイルスの影響で、中国製の部材の供給が止まり、納期が未定となっている。(総合建設業)
- ★昨年10月以降、災害復旧に明け暮れ、受注の収益は上がったが、今年4月以降、本来の土木の予算が大幅に削られることが既に決定しており、今後が心配。(土木工事業)



卸小売業の景況

業況は34㊦悪化の▲41、来期も悪化の予想

卸小売業の1～3月期の業況判断D・Iは▲41で、前回（▲7）に比べ34㊦悪化しました。4～6月期の業況判断D・Iは16㊦悪化の▲57の予想です。

	（前期）	10～12月期	▲7
◆業況判断D・I	（今期）	1～3月期	▲41
	（来期）	4～6月期	▲57（予想）

◇業種別	卸売業	前期 +17 → ▲31（48㊦悪化）
	小売業	前期 ▲23 → ▲46（23㊦悪化）

◆収益判断D・I（「増益」－「減益」）…▲45（50㊦悪化）

「増益」割合 前期 23% → 12%（11㊦減少）

「減益」割合 前期 18% → 57%（39㊦増加）

◆現在の採算状況…改善

「利益確保」 前期 33% → 44%（11㊦増加）

「収支トントン」 前期 52% → 39%（13㊦減少）

「赤字」 前期 14% → 17%（3㊦増加）

企業からのコメント

- ★☆☆新型コロナウイルスの影響で、飲食業などの納品業者の売上が悪い。だが、学校の休みで、児童が家庭にいるため、スーパー・小売店の売上は伸びている。（青果卸）
- ★☆☆新型コロナウイルスの影響で、外食が減っているが、家庭内でのアルコール需要が高まっており、2月の売上は前年比増となる。（酒類販売）
- ★中国からの部品が止まって製品が完成せず、メーカーの在庫が品薄状態。（自動車）

サービス業の景況

業況は9㊦悪化の▲46、来期も悪化の予想

サービス業全体の1～3月期の業況判断D・Iは▲46で、前回（▲37）と比べ9㊦悪化しました。業種別では、輸送・観光・不動産が改善しています。

4～6月期の業況判断D・I（予想）は14㊦悪化の▲60です。

	（前期）	10～12月期	▲37
◆業況判断D・I	（今期）	1～3月期	▲46
	（来期）	4～6月期	▲60（予想）

◇業種別業況判断D・I

サ ー ビ ス	前期 ▲14 → ± 0（14㊦改善）
輸 送	前期 ▲56 → ▲63（7㊦悪化）
タクシー	前期 ▲67 → ▲100（33㊦悪化）
運 輸	前期 ▲50 → ▲40（10㊦改善）
外 食	前期 ▲43 → ▲29（14㊦改善）
観 光	前期 ▲75 → ▲89（14㊦悪化）
不 動 産	前期 ▲8 → ▲40（32㊦悪化）

企業からのコメント

- ★タクシー料金の値上げや迎車料金が復活するも、新型コロナウイルスによる政府の自粛要請後は、急激に売上がダウンした。（タクシー）
- ★新型コロナウイルスの影響で、製造業を中心とした部品の輸入減少で、流通も減少。（一般貨物）
- ★新型コロナウイルスと東京オリンピックの動向により、今後に変化が生じるだろう。（不動産業）
- ★新型コロナウイルスの影響で、予約のキャンセルが相次ぎ、今後の業界動向が危惧される。（旅館）

雇用情勢 1～3月期

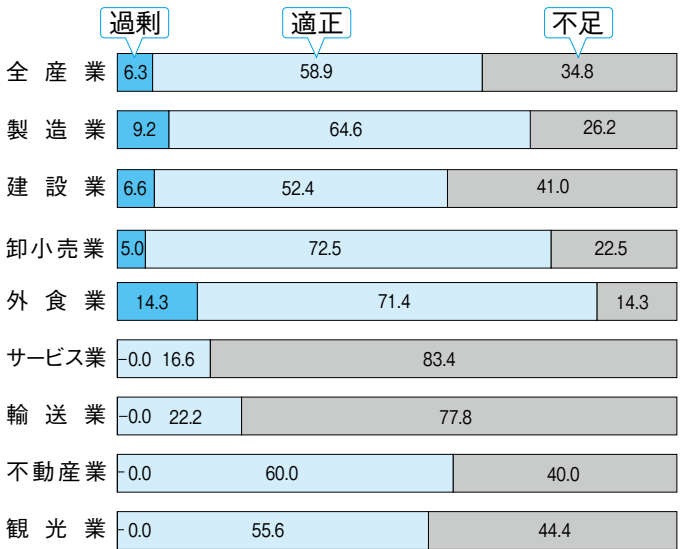
観光・不動産が悪化、外食・輸送は改善

従業員の過不足感（「過剰」－「不足」）は、全産業で▲29となり、前回（▲32）より3ポイント改善しています。

雇用情勢（「過剰」－「不足」）

業 種	前期(10～12月)	今期(1～3月)
全産業	▲31.8	▲28.5
製造業	▲18.6	▲17.0
建設業	▲37.3	▲34.4
卸小売業	▲22.0	▲17.5
外食業	▲28.6	±0
サービス業	▲85.7	▲83.4
輸送業	▲87.5	▲77.8
不動産業	▲33.3	▲40.0
観光業	▲37.5	▲44.4

従業員の過不足感（％）



(資料:当金庫)

資金繰り 1～3月期

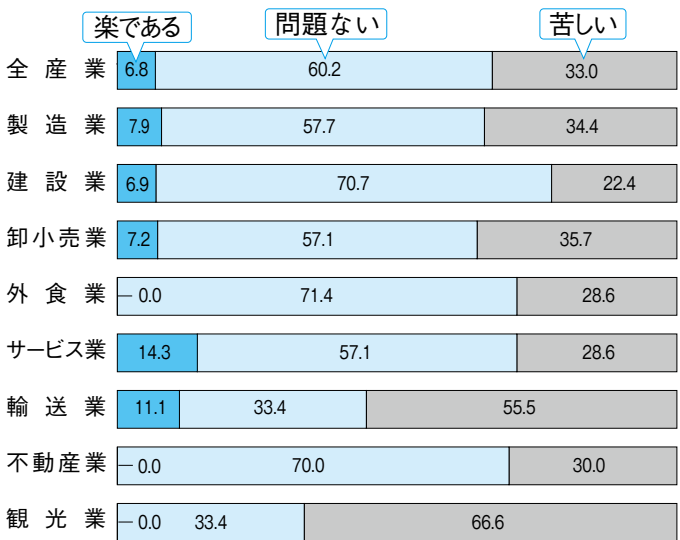
観光・不動産が悪化、製造・建設は改善

資金繰り状況判断（「楽である」－「苦しい」）は、全産業で▲26となり、前回（▲27）より1ポイント改善しています。

資金繰り（「楽である」－「苦しい」）

業 種	前期(10～12月)	今期(1～3月)	来期(4～6月)
全産業	▲26.6	▲26.2	▲28.0
製造業	▲33.3	▲26.5	▲32.3
建設業	▲20.7	▲15.5	▲14.0
卸小売業	▲25.6	▲28.5	▲26.9
外食業	▲28.6	▲28.6	▲60.0
サービス業	▲14.3	▲14.3	±0
輸送業	▲44.4	▲44.4	▲44.4
不動産業	▲8.3	▲30.0	▲30.0
観光業	▲37.5	▲66.6	▲77.7

資金繰り状況感（％）



(資料:当金庫)

販売価格動向 1～3月期

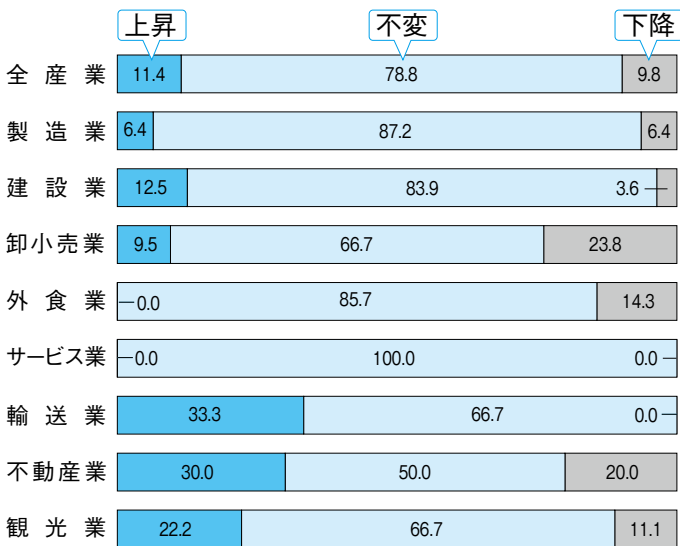
輸送・不動産・製造が上昇、卸小売・外食は下降

販売価格動向（「上昇」－「下降」）は、全産業で+2となり、前回（+4）に比べ2ポイント悪化しています。

販売価格動向（「上昇」－「下降」）

業 種	前期(10～12月)	今期(1～3月)	来期(4～6月)
全産業	+3.5	+1.6	▲2.5
製造業	▲9.4	±0	▲9.7
建設業	+9.1	+8.9	+5.5
卸小売業	+14.2	▲14.3	±0
外食業	±0	▲14.3	±0
サービス業	±0	±0	14.3
輸送業	+11.1	+33.3	▲11.1
不動産業	±0	+10.0	±0
観光業	+12.5	+11.1	▲22.2

業種別販売価格動向(対前期)（％）



(資料:当金庫)

事業継続計画 「知っている」36% 「よく知らない」+「聞いたことがない」52%

策定状況 「策定している」7% 「策定していない」57% 「策定を予定・検討している」17%

「事業継続計画」の認識状況 「事業継続計画(BCP)」を知っていると答えた企業は1/3強、「意味は良く知らない」は1/3弱、「聞いたことがない」は2割です。

「事業継続計画」の策定状況 「策定している」は1割弱、「策定していない」は6割弱、「策定を予定・検討している」は2割弱です。

事業継続計画の認識状況

「知っている」36%

「意味はよく知らない」31%

「聞いたことがない」21%

「事業継続計画 (BCP)」という言葉を知っているか」を聞きました。

「聞いたことがあり、意味も知っている」と答え

た企業は3分の一強の36%、「聞いたことはあるが、意味は良く知らない」は3分の一弱の31%、「聞いたことがない」は21%でした。

これらを従業員規模で比べると、30人以上は、「聞いたことがあり、意味も知っている」は、30人未満より38%高い65%となりました。30人未満は、「聞いたことはあるが、意味はよく知らない」は、30人以上より18%高い36%、「聞いたことがない」は、同じく17%高い25%となりました。

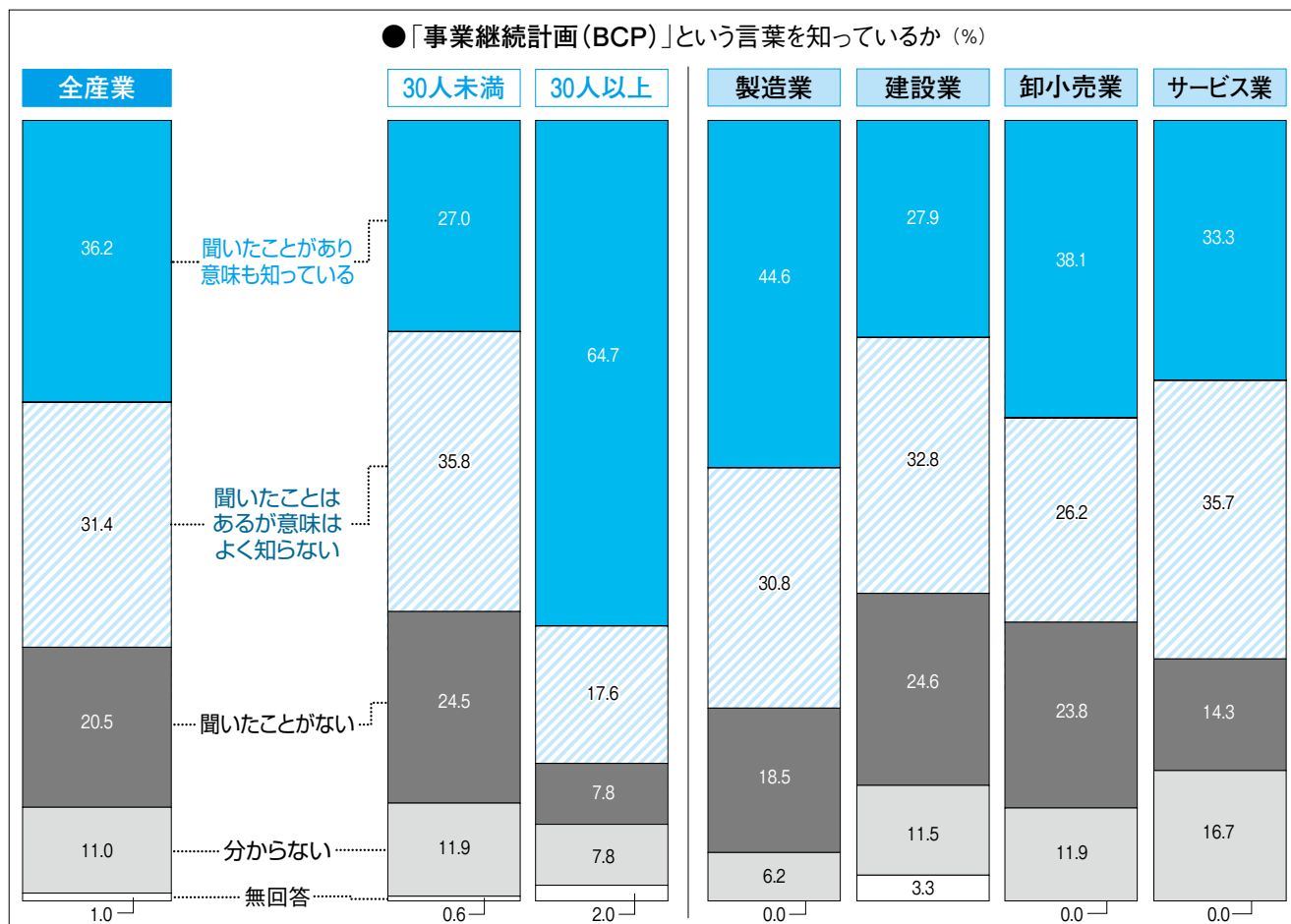
業種別

「意味も知っている」製造45%・卸小売38%

「意味はよく知らない」サービス36%・建設33%

「聞いたことがない」建設25%・卸小売24%

製造業 「聞いたことがあり、意味も知ってい



る」(45%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方「分からない」(6%)は他業種に比べ最も低くなっています。

建設業 「聞いたことがない」(25%)が他業種に比べ最も高く、「意味も知っている」(28%)は他業種に比べ最も低くなりました。

卸小売業 「聞いたことがない」(24%)が建設業に次いで高く、「意味はよく知らない」(26%)は他業種に比べ最も低く、「分からない」(12%)は建設業に次いで低くなりました。

サービス業 「意味はよく知らない」(36%)が他業種に比べ最も高く、「聞いたことがない」(14%)は他業種に比べ最も低くなりました。

「事業継続計画」の策定状況

「策定している」7% 「策定していない」57%

「事業継続計画(BCP)」の策定状況について聞きました。

「策定している」と答えた企業は7%、「策定していない」と答えた企業は57%、「策定を予定・検討している」と答えた企業は17%でした。

これを従業員規模で比べると、30人以上は、「策定している」が30人未満より9ポイント高い14%、「策定を予定・検討している」と答えた企業は同じく17ポイント高い29%でした。他方30人未満は、「分からない」が30人以上より16ポイント高い23%でした。

業種別

「策定している」卸小売 14%・製造 6%

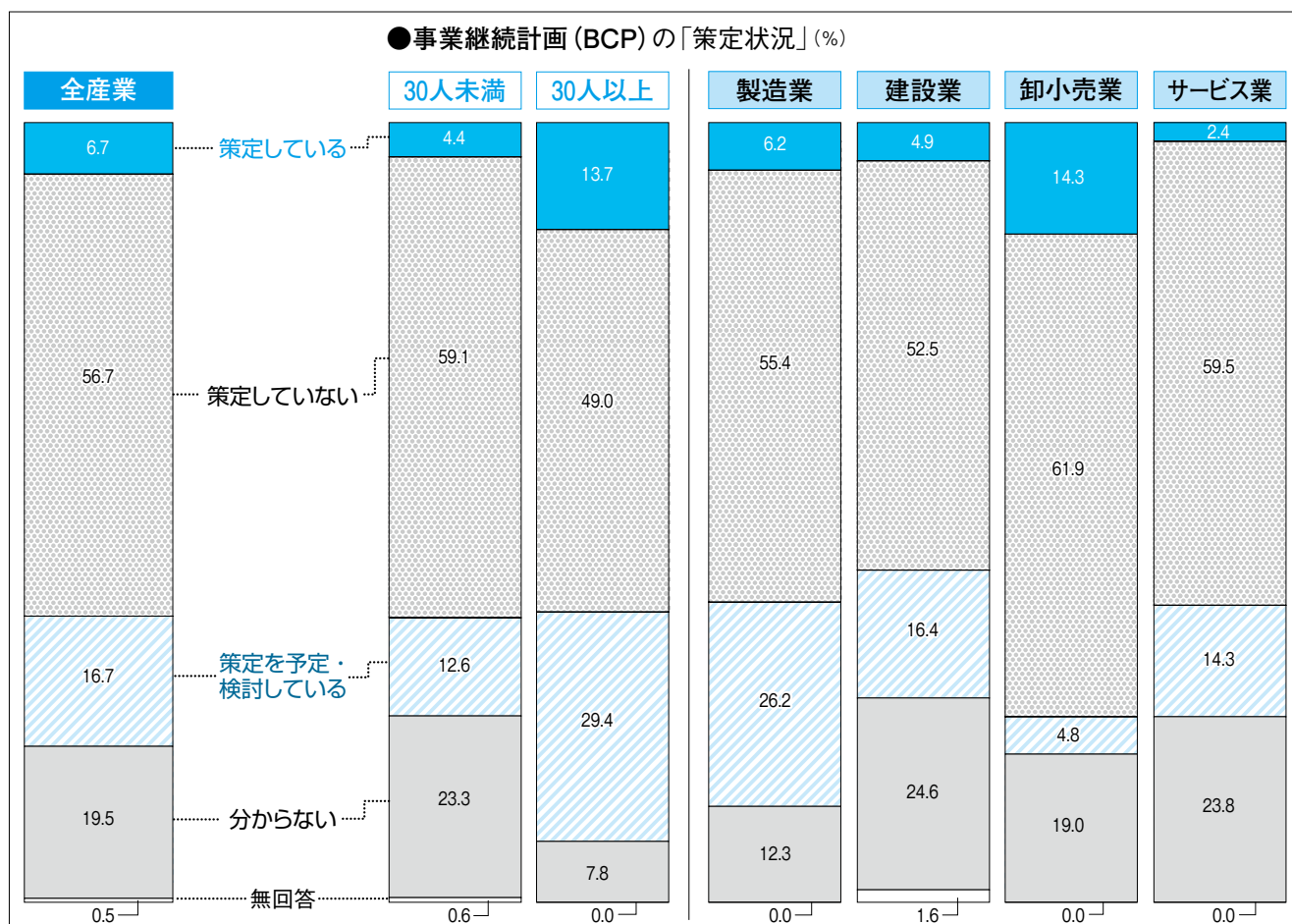
「策定を予定・検討」製造 26%・建設 16%

製造業 「策定を予定・検討している」(26%)が他業種に比べ最も高くなりました。他方、「分からない」(12%)は他業種に比べ最も低くなっています。

建設業 「分からない」(25%)が他業種に比べ最も高く、「策定していない」(53%)は他業種に比べ最も低くなりました。

卸小売業 「策定している」(14%)は他業種に比べ最も高いのですが、同時に「策定していない」(62%)も他業種に比べ最も高くなりました。「策定を予定・検討している」(5%)が他業種に比べ最も低くなっています。

サービス業 「策定していない」(60%)が卸小売



業に次いで高く、「分からない」(24%)も建設業に次いで高くなっています。「策定している」(2%)は他業種に比べ最も低くなりました。

◇次号は「想定している主なリスク」と「事業継承計画を策定していない理由」を予定

[調査要領]

実施期日：2020年3月上旬～中旬

実施要領：第179回景況アンケート調査に併記

調査企業：回収210社（製造業65社、建設業61社、卸小売業42社、サービス業42社）
うち従業員30人未満159社（75.7%）

「自然災害と企業活動」に関する企業からのコメント

製造業

- ◇当社の立地地域は比較的に安全な場所であるが、過去には雷雨による集中豪雨で、工場敷地内に水が溢れたことがある。（精密機械）
- ◇ハザードマップなどで常に確認し、もしもの場合に備え、有害物質の流出防止訓練を独自に実施している。（電子部品）
- ◇昨年の台風災害では、物流停滞による製品の仕入れや営業活動に影響が大であった。（味噌・漬物）
- ◇企業としては、まだ大きな取り組みはしていないが、防護用品（ヘルメットなど）の準備など、出来ることからやっていきたい。（プラスチック）
- ◇昨年の台風19号の被害を目の当たりにして、自然災害や物理的な災害に対して、しっかりした対応策の策定を痛感している。（シール・ラベル）
- ◇部品の調達に関して、製造場所の多方面化が不可欠だと思う。（金属製品）
- ◇マシニングセンタなど、高価な機械が浸水に遭い甚大な被害であったが、再建に向け一步一步進んでいくしかない。（一般機械）
- ◇災害があった時だけ意識するのではなく、常に防災意識を持つように社員教育をしていきたい。（建築金物）
- ◇BCP計画とまではいなくても、災害発生時の対応マニュアルの必要性は感じている。（樹脂雑貨）
- ◇BCPに新型ウィルス対策を入れようにも、皆目対応策が分からない。（食品製造）

建設業

- ◇いざ災害発生という時に、瞬時に対応できるように、重機やダンプ、資材の待機を心掛けている。
- ◇天変地異については、常に危機管理意識を持つべきだと思う。
- ◇様々な面で、国のサポートがあり安心はしているが、年々自然災害が巨大化しており、その点が少し心配である。

◇水害などが発生した際には、発注官庁や民間顧客への対応は積極的に実施している。

◇経営に多大な影響がある中でも、できる力で引き続き、災害復旧に協力していきたい。

（以上総合建設）

卸小売業

- ◇台風19号のような災害が発生した際には、フォークリフトや車など、高額資産の速やかな移動ぐらいいしか社員に伝えていない。（青果卸）
- ◇災害ボランティアはいるが、企業ボランティアはいない。つまり、自分でどうにかしなければということ。（果物卸）
- ◇新型コロナウイルスが観光業界に与えた被害は甚大だが、観光地で営業していると、じっと人を待つことしかできない。（土産店）

サービス業

- ◇災害時は常に復旧に関わる仕事であり、全力で臨むべく努力しているが、最近は、技術者が不足しており対応能力が下がっている。（測量コンサルタント）
- ◇BCPの策定が急務であり、台風以外の自然災害についても対応を検討していく必要がある。（日本旅館）
- ◇人為的か自然災害かの区別はできないが、今般の新型コロナウイルスに関しては、過去経験したことがないほどの大きな災害である。（観光ホテル）
- ◇新型コロナウイルスの影響によるキャンセルが膨大に出ており、売上が激減している。（割烹）
- ◇新型コロナウイルスの影響で、製造業を中心とした部品の輸入が減少しており、最終的に流通が減り、貨物輸送が減少している。（トラック輸送）
- ◇イベント自粛要請により、タクシー・バスともにキャンセルや人の流れが変わり、減収が続く。経済へのダメージは計り知れない。（タクシー・バス）

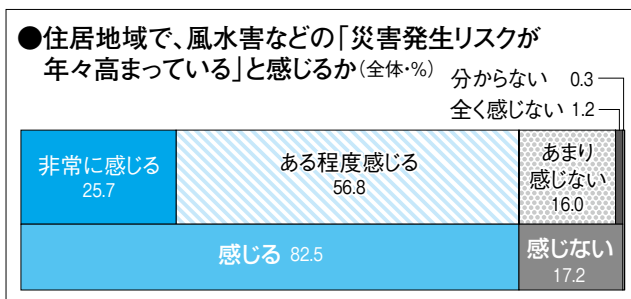
●災害発生リスク 「高まっている」と感じるか「感じる」83%「感じない」17%

「感じる」30～40代高く 93%

「住居地域で、風水害などの災害発生リスクが年々高まっていると感じるか」を聞きました。

「感じる」と答えた人は83%、「感じない」は17%、「分からない」は1%以下でした。

男女別で見ると、「感じる」と答えた人は、女性が84%、男性が82%と、ほとんど差がありませんでした。世代別で見ると、「感じる」と答えた人は、10～20代が69%、30～40代が93%、50代以上が78%で、その差は24%と聞きました。



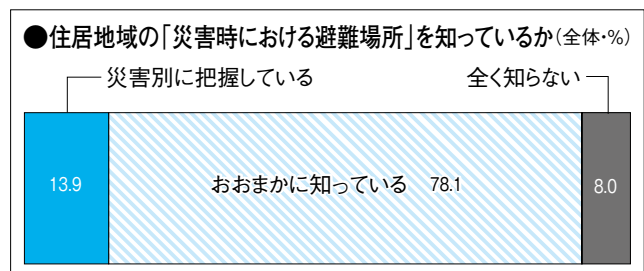
避難場所「大まかに知っている」78%

次に「住居地域の災害時における避難場所を知っているか」を聞きました。

「災害別に把握している」が14%、「大まかに知っている」が78%、「全く知らない」が8%でした。

男女別で特徴を見ると、女性は「大まかに知っている」が83%と高く(男性76%)、男性は「災害別に把握している」が16%と高く(女性11%)になりました。「まったく知らない」は男性9%、女性7%でした。

世代別で特徴を見ると、10～20代は「全く知らない」が19%と高く(30～40代5%、50代以上6%)になりました。30～40代は「おおまかに知っている」が85%と高く(10～20代72%、50代以上73%)なっています。50代以上は「災害別に把握している」が21%と高く(10～20代9%、30～40代11%)になりました。



【調査要領】

実施期日：2020年3月上旬～中旬

実施場所：長野信用金庫本支店窓口

対象者：来店客338人(男性217人・女性121人)

調査要領：アンケート用紙に記述(無記名)

「災害の備え」に関する生活者からのコメント

- ◇昨年10月の台風被害により、防災グッズの見直しなどを2・3カ月に1度行うようになった。
- ◇河川も空地も水はけの悪いコンクリートなどで埋め尽くされ、洪水時の流水を一時的に氾濫させる遊水池がなくなったことが大問題。
- ◇ハザードマップに記された避難施設の収容能力が足りないと報道で知った。民間施設も含めたプランが必要ではないか。(以上20代女性)
- ◇昨年の台風災害で、初めてハザードマップを見た。自宅付近は最大5mの浸水被害が予想されており、対策を考えようと思った。(20代男性)
- ◇大型土木工事のみで自然災害に立ち向かうのは無理だと思う。
- ◇千曲川などの大きな河川から離れているので安心していましたが、中小河川の内水氾濫の危険が増しているの、洪水が心配。(30代女性)
- ◇地附山の土砂崩落時に、避難をして苦労した経験

- があるので、意識を高めなければと感じる。
- ◇坂城町議会でも自然災害が話題になっており、行政が早く対策を立て実行してほしい。
- ◇台風19号の災害により意識が変わった。しっかり備えをしていきたい。(以上40代男性)
- ◇今後どれくらいの規模の災害が起きるのか、全く予想できないのが現状だと思う。(50代男性)
- ◇いざ災害に遭って避難となった際、「車を使うか!」悩むと思う。
- ◇自然災害が多い近年。常に「何が起きてもおかしくない」という危機感を持ち、準備・対応することが必要だと思う。(以上60代以上女性)
- ◇川底のしゅんせつを速やかに実施するのが、一番コストもかからず効果ある洪水対策だと思う。
- ◇千曲市に在住しているが、地域病院との災害時避難契約を早期に結んでほしい。(以上60代以上男性)

北信濃 江戸時代の風景

(68) 伊能忠敬、信州へ

長野郷土史研究会会長

小林 一郎



伊能忠敬の生涯

測量家として名高い伊能忠敬(1745～1818)は、現在の千葉県九十九里町の名主小関家に生まれました。成人した後、現在の香取市佐原の酒造家伊能家を継ぎ、やがて佐原村の名主も務めました。

49歳で隠居すると、江戸に出て天文学・暦学・測量等を学びました。全国の測量を企てたのは寛政12年(1800)56歳の時で、幕府の支援も受けて文化13年(1816)まで、10次にわたる測量旅行を行いました。その間に、北信地方を2度巡って測量しています。

「大日本沿海輿地全図」

伊能忠敬が日本中を測量して制作した地図で、正確なことで知られています。「伊能図」とも呼ばれ、大図214枚、中図8枚、小図3枚があります。大中小は縮尺の違いで、大図は3万6千分の1、中図は21万6千分の1、小図は43万2千分の1で

す。本年度は、信濃を描いた大図を少しずつ見ていくことにします。

また伊能忠敬は膨大な旅日記(『測量日記』)を残しています。測量して得た距離や緯度のデータは、『大日本沿海実測録』として出版されています。こうした資料を使って、伊能忠敬の旅を追体験してみましょう。

第3次測量

伊能忠敬の測量隊が初めて信州に足を踏み入れたのは、享和2年(1802)の第3次測量の時でした。6月11日(現在の暦で7月10日)に江戸を出発した測量隊は、奥州街道を北上しました。現在の青森県からは日本海に沿って南下し、10月4日(同10月30日)に越後の今町(現在の上越市直江津)に達しました。ここから海を離れて北国街道に入り、7日(同11月2日)に関川の関所を越えて信州に入りました。



国立国会図書館蔵「大日本沿海輿地全図」(大図)より

柏原宿まで (『測量日記』より)

享和2年(1802)10月7日は晴天でした。朝もつ時(6時)頃に関山宿(妙高市関山)を出発した測量隊は、二俣宿(妙高市二俣)・田切宿(妙高市田切)を経て、右手に妙高山を眺めながら関川宿(妙高市関川)に入りました。この宿に続いて関所があり、関川(川の名)を渡ると、ここからは信濃国水内郡です。



柏原宿の面影を伝える、小林一茶の弟が建てた家

野尻宿(信濃町野尻)は関川宿から1里(約4km)ほどの所にあり、「びわ湖」があります。野尻村は天領(幕府領)で、本村は150軒ですが、新田分を合わせると250軒ほどになります。

野尻宿から1里ほど行って柏原宿(信濃町柏原)に着いたのは、八つ時(午後2時)過ぎでした。この村も天領で、村高は新田分を合わせて1464石余です。家は350軒で、この内116軒が宿場です。隣の古間宿と合わせて1宿になっていて、月の前半は柏原が、後半は古間が宿を務めています。その夜は晴天で、星を観測して緯度を調べました。

「大日本沿海輿地全図」を見る

左下の図は、「大日本沿海輿地全図」(大図)に描かれた関川宿から古間宿までの区間です。方位は左が北で、山々は北側(左)から見たように描かれています。

左端が関川宿で、「関川」の文字に○印が付いているのは、宿場であることを示しています。「野尻」「古間」には○印がありますが、なぜか「柏原」には○印が抜け落ちています。上部に記された「榊原式部大輔」は高田藩主榊原政敦で、この地が高田藩領であることを示しています。

各宿場を通る北国街道は、左から右へ、赤い線で描かれています。「関川」には「御関所」があり、川(関川)が「越後国頸城郡」と「信濃国水内郡」と

の境になっています。信濃に入ると小集落(信濃町野尻赤川)があって、そこには関川の支流(池尻川)も描かれています。

そこから山を登るようにして街道を進むと、また小集落(信濃町野尻土橋)があって、間もなく「野尻」宿に入ります。ここには「芙蓉湖」(野尻湖)があります。「芙蓉湖」と呼ばれるのは、形が芙蓉の花に似ているからだといわれています。『測量日記』には「びわ湖」と記されていますが、これは琵琶島(弁天島)があるからでしょう。

「野尻」宿と「柏原」宿との間にも小集落(信濃町野尻貫ノ木)があります。「柏原」宿と「古間」宿は、実際は合わせて1宿として扱われています。

伊能忠敬の測量データ(『大日本沿海実測録』より)

信越国境～野尻宿 26町34間(約2898m)

野尻宿～柏原宿 35町29間(約3871m)

(1里=36町、1町=60間)

柏原宿の緯度 北緯36度49分

(現在の地図では北緯36度48分)

5月号は「伊能忠敬、柏原宿から善光寺宿へ」の予定です。

この頁は長野信用金庫のホームページでカラーにてご覧いただけます [長野信用金庫について](#)

「新型コロナウイルス感染症」で
影響を受けている事業者さま向け

よろず 万相談会

各回
30分

実施期間…令和2年3月27日(金)～6月26日(金)

- 午前 9:30～12:00
- 午後13:00～15:30

毎週金曜日

長野しんきん
本店営業部

026-225-0225
長野市居町133-1

- ◆雇用関連のご相談(雇用調整助成金なども)
- ◆テレワークに関するご相談
- ◆資金繰りに関するご相談
- ◆そのほか経営全般に関するご相談

事前
予約制
無料

令和元年「台風19号被災事業者」
さま向け

「グループ補助金」「持続化補助金」

個別相談会

各回
50分

実施期間…令和2年4月1日(水)～6月29日(月)

●午前9:30～12:20

毎週月曜日(祝祭日は除く)

長野しんきん
豊野支店

026-257-3121
長野市豊野町豊野沖608-1

毎週水曜日(祝祭日は除く)

長野しんきん
本店営業部

026-225-0225
長野市居町133-1

- ◆グループ補助金・持続化補助金の申請に関するご相談
- ◆台風19号に関する経営相談

2つの相談会は

公益財団法人 長野県中小業振興センター「長野県よろず支援拠点コーディネーター」がご相談を承ります。

予約お申込方法: お取引されている店舗または最寄りの店舗までお申込みください

お問合せ先: 026-228-0221 長野信用金庫 地域みらい応援部 下平・金子

●みなさまの税務相談のご案内 [5月]

(注)上の店名は開催場所、下の()内店名はその相談日に含まれる対象店です。

開催日		午前	午後	開催日		午前	午後
5月1日	金	城北支店 (若槻支店)	柳原支店 (東長野支店)	5月19日	火	小布施支店 (中野支店)	若穂支店
8日	金	屋代支店 (稲荷山支店)	戸倉支店 (上山田支店・坂城支店)	20日	水	墨坂支店 (須坂支店・太子町支店)	飯山支店 (山ノ内支店)
11日	月	南支店 (七瀬支店)	吉田支店 (古里支店)	21日	木	大門町支店 (桜枝町支店)	善光寺下支店 (権堂支店)
12日	火	篠ノ井支店 (川柳支店)	川中島駅前支店 (川中島支店)	22日	金	本店営業部	
13日	水	更北支店 (松代支店)	伊勢宮支店 (石堂支店)	26日	火	本 部	
14日	木	大豆島支店 (長池支店)		27日	水	本 部	

●5月の「しんきん事業相談会」は5月13日(水)です



長野信用金庫 総合企画部

本店 〒380-8686 長野市居町133-1 TEL 026-228-0221(代)

長野信用金庫 URL <http://www.nagano-shinkin.jp/>

